

第4次気仙沼市食育推進計画の推進に関連する施策の実績数値について

視点1 食を通じた健康づくりを推進するための目標

視点2 気仙沼市の風土にはぐくまれた食材・食文化の理解と継承のための目標

視点3 食の安全・安心の推進と非常時への備えをするための目標

視点4 市民運動による食育を推進するための目標

視点	項目		目標値 (令和8年度)	ベースライン値	令和3年度 実績	出典 (ベースライン値の年度)
1	朝食を欠食する人の割合	中学2年生	2%以下	5.8%	—	市「食育アンケート」(R2年)
1	3食とも主食・主菜・副菜のそろった食事を食べている人の割合	小中学生の保護者	60%以上	45.5%	—	市「食育アンケート」(R2年)
1	薄味を心がけている人の割合		70%以上	53.1%	62.9%	市「3歳児健康診査」(R2年度)
1	ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合		55%以上	45.0%	—	市「食育アンケート」(R2年)
1	むし歯のない小学生の割合		85%以上	82.8%	85.6%	県「児童生徒の健康課題統計調査(R2年度)」
2	家族等と一緒に料理を作る児童・生徒の割合		75%以上	64.9%	—	市「食育アンケート」(R2年)
2	クッキング体験事業の増加	保育所・こども園、児童館	84回以上	63回	65回	市「食育関連事業報告(R2年度)」
2	週3回以上魚を食べる人の割合	小・中学生の保護者	60%以上	34.6%	—	市「食育アンケート」(R2年)
2	学校給食における地場産物の利用品目数の割合 ※パン及び麺類、米・大麦等、小麦粉及びその製品、芋及びでんぷん類、豆類、豆製品類、種実類、緑黄色野菜、その他野菜類、果物類、きのこ類、藻類、魚介類、小魚類、肉類、卵類、乳類		増加へ	37.9%	39.8%	県「地場産物活用状況調査(R2年度)」
2	「地産地消」という言葉も意味も知っている割合	小・中学生の保護者	90%以上	85.4%	—	市「食育アンケート」(R2年)
2	「スローフード」という言葉も意味も知っている割合	小・中学生の保護者	60%以上	46.1%	—	市「食育アンケート」(R2年)
3	国産や地元産の食材を意識して購入する人の割合	小・中学生の保護者	75%以上	71.4%	—	市「食育アンケート」(R2年)
3	1人1日当たりごみ排出量		900g以下	979g	983g	市「一般廃棄物処理基本計画」
4	「食育」という言葉や意味も知っている人の割合	小・中学生の保護者	80%以上	72.0%	—	市「食育アンケート」(R2年)
4	食育の推進ボランティアによる食生活改善活動普及数（食生活改善推進員の活動）		増加へ	4,619人	3,779人	気仙沼市食生活改善推進員協議会総会資料(R2年度)

—：目標年度（令和8年度）において、アンケート調査により評価する項目。